

社協たより

第154号

2012.6.1

点字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : <http://www.nogata-shakyo.org/>



みんながよこにつながって

よこのいと（横糸）をつなげましょう！

手を大きく広げ準備体操で体をほぐすよこいと運動会参加者（昨年の写真）今年のよこいと運動会の詳細は4ページをご覧ください。

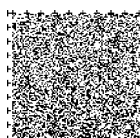
もくじ

- 平成24年度事業の紹介 2
- 地域の輪（ゆいの会）
情報の広場
（使用済み切手のお礼、求職者支援制度）
図書室（絵手紙&メッセージ集） 3

- お知らせ（赤い羽根自販機設置、登録ヘルパー募集、よこいと運動会開催）
ご寄付 4

（A・I）

参加していただき共に生命を感じて欲しい。



この運動会の目的は「障害の有無や年齢に関わらず、誰もが楽しめる運動競技を通して、地域で暮らす人々が横のつながりを深めること」である。私も運動会に2度参加したが、身体の不自由な人から老いも若きも一つとなり、手を取り合い、共に汗を流し、生き活きとした空気が満ちあふれていた。ぜひとも多くの人が参加していただき共に生命を感じて欲しい。

館で開催される。

東日本大震災以降、「絆」など他者を思いやる言葉を多く耳にした一年だったが、最近ではこの心が薄れてきたようにも感じられる。しかし、直方市では36年に渡り「絆」や「共生」を実感させてくれる催しが開催されている。毎年6月第1日曜日に開催されている「よこいと運動会」である。今年も第37回目が6月3日に直方市体育館で開催される。

よこいと運動会

kantera

カンテラ



社会福祉協議会ってなに？

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に定められ、住民の主体的な活動を原則として地域の福祉問題の解決に取り組み、地域に暮らす一人ひとりが、人間として尊重され、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり（地域福祉）を組織的に進める団体です。

具体的にはどんなことをしているの？

誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するために、市民の皆様や関係機関の協力を得て、様々な事業を実施しています。

平成24年度事業の一部をご紹介します。

おもちゃ図書館のおがた

障害のある子ども、ない子ども、その家族や友達、スタッフがおもちゃを通して、楽しく遊びながら育ちあうところです。

移動送迎支援事業

公共交通機関を利用することが困難な在宅の障害者や高齢者等に送迎支援を行います。



日常生活自立支援事業

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため日常生活に困っている人を支援します。

支え合いマップ作りによる小地域福祉活動の推進

住み慣れた地域で安心して暮らすために、住民同士の触れ合い・助け合いの状況を住宅地図に載せることで、地域が抱える生活課題が何かを確認し、ご近所で何をすればよいかを考える取り組みです。



直方徘徊SOSネットワークの推進

直方徘徊SOSネットワークとは、認知症高齢者などが行方不明になった時、家族から警察署に捜索願が提出された後、家族の承諾を得たうえで、本会から参加登録団体へFAXにて情報を一斉に発信する、命を守るための仕組みです。



認知症相談

毎月第4水曜日、認知症や家族介護でお悩みの方のために相談日を設けています。

福祉ボランティア活動の支援

ボランティア活動をしたい人と依頼する人の調整や個人登録、ボランティア団体の支援等を行います。

車いすの貸し出し

一時的に車いすが必要な人や市内で活動している個人や団体に車いすをお貸しします。



生活福祉資金の貸付

低所得者、障害者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことで、安定した生活が送れるように支援します。

地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

ぼちぼちと大きく

精神保健福祉ボランティア

ゆいの会



ゆいの会は、昨年6月に開催された、精神保健福祉ボランティア養成講座を受講された方々が、このままでは終わらせたくないとの熱い思いで立ち上がったボランティアグループです。

毎月第1月曜日、直方市総合福祉センターにおいて定例会を開き、会員相互の交流やなごみの会（直轄地域精神障害者家族会）の活動への参加・見学などを通じて、精神保健福祉への理解を深めています。

会員は、「これから色々な所へ出向いて勉強し、一人ひとりと関わりながら、対等につながっていきたい」と話されていました。

会員の皆さんは試行錯誤しながら、夢や思いを行動にしようとしています。思いのある方はぜひぶらりとお立ちよりください。生まれて間もないゆいの会は、急ぐことなく、成長していくことでしょう。

「ぼちぼちと大きく大きなあれ」
(H・T)

情報の広場

使用済み切手のお礼



平成24年3月末までにご協力いただいた、使用済み切手を送付いたしました。

ボランティア団体・自宅・職場で収集にご協力いただいた皆様ありがとうございます。

今年度も引き続きご協力をお願いいたします。

【送付先】

日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)

【目的・活用方法】

より貧しく、弱い立場におかれた海外の人々に医師・保健師・看護師などの派遣や、現地で保健医療を学ぶ人に奨学金支給など

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
直方市ボランティアセンター
☎0949(23)2551

求職者支援制度

求職者支援制度とは、雇用保険を受給できない方が、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を実現するために、国が支援する制度です。

【支援内容】

①再就職に必要なスキルを身に付けるための職業訓練を受講できます。

②訓練期間中も訓練就職後も、ハローワークが積極的に就職支援します。

③一定の要件を満たす方に、訓練期間中、月10万円の「職業訓練受講給付金」を支給します。

【支援の対象となる方】

①ハローワークに求職の申し込みをしていること。

②雇用保険に加入中でない、または失業手当を受給していないこと。

③働く意志と能力があること

④職業訓練などの支援が必要であるとハローワークが認めたこと。

【お問い合わせ】

ハローワーク直方
☎0949(22)8609

図書室



「絵手紙&メッセージ集」

著者 小野 つい子
発行所 自費出版
お問い合わせ
☎0949(26)0207

ありがとうございます

言うたびに幸せに
ぐちを言うたびに
幸せが遠ざかる

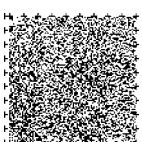
昨年の東日本大震災の後、著者は「生きていること」そして「幸せ」とは何かを深く考えた。それは、当たり前の有り難さ、苦しみの中の喜び……。

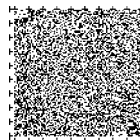
後書きには、「皆さんがその時々、このメッセージを読んでも、少しでも元気になっていただければ」と記されている。

直方の一市民である著者が、未曾有の大震災で、改めて平凡な自分の生活の有り難さを絵手紙とメッセージにして一冊にまとめている。

ご希望の方
はお問い合わせ
電話番号まで。

(広田)





直方初

赤い羽根自販機設置



ケアハウス百寿の里赤い羽根自販機前での一枚

直方市内で初めて、ケアハウス百寿の里(上新入)内に、赤い羽根自販機が設置されました。この自販機は、飲み物を購入すると、その売り上げの一部が、赤い羽根募金に寄付され、身近な地域の福祉活動に使われます。

施設長の坂田さんは、「赤い羽根共同募金に施設もお世話になっています。少しでも地域に貢献できれば」と話されました。百寿の里は、「大切な人に安全と安心を・・・健やかで、明るいシルバーライフ」をモットーとしたケアハウスです。施設見学にもぜひお越しください。

第37回よこいと運動会開催

誰もが楽しめる運動競技を通して地域の人々がよこいのつながりを深めることを目的として開催します。

ぜひご参加ください。

【日時】

平成24年6月3日(日)

10時～15時まで

【場所】

直方市体育館

※上履きをご持参ください

【対象者】

どなたでも

【送迎バス】

直方駅発 8時50分

9時20分

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会

☎0949(23)2551

あなたと一緒に
ヘルパーとして
働いてみませんか。



■ 資格

- ・ヘルパー2級以上
- ・普通自動車免許

■ 賃金(時給)

- ・生活援助
(日 中) 1,100円
(早朝夜間) 上記2割増し
 - ・身体介護
(日 中) 1,550円
(早朝夜間) 1,860円
 - ・移動支援(ガイドヘルプ)
(身体有り) 1,400円
(身体無し) 1,260円
- ※詳細はお問い合わせください。

■ 活動時間

- ・7時～21時 ※勤務時間は相談の上

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会

ホームヘルプサービス 香月・毛利

☎0949(23)2551

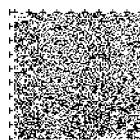
(月～金 8時30分～17時)

ご寄付ありがとうございます。
ごございます。

平成24年2月11日～平成24年5月10日

28件 合計金額610,000円

(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)



香典返し寄付金

一般寄付金

● 殿町	田鶴原 笑子
● 直方	吉田 シズ子
● 上頓野	田中 笑子
● 上境	山本 直人
● 山部	山口 賢次郎
● 日吉町	(故)田鹿 正子
● 直方	根葉 厚志
● 植木	石橋 久子
● 福岡市	原田 義晴
● 頓野	宮近 一美
● 下新入	吉村 カツヨ
● 神正町	中島 正策
● 下境	有松 ミチ子
● 直方	内田 美智恵
● 下新入	(故)有吉 和子
● 植木	吉田 マツエ
● 新町	山代 順一
● 山部	山本 佐津男
● 赤地	河村 照雄
● 須崎町	長田 美津子
● 上頓野	瀬戸 宗子
● 上頓野	吉田 幸隆
● 新知町	中富 道雄

編集後記

春の気候は外に出やすくなり、車いすで出かける度に、市内は少しずつバリアフリーになっていると実感します。

20年前は福祉センター入り口にさえスロープはなく階段のみでした。市内の歩道上り口には、15センチの段差が当たり前、傾きながら上がるスロープなどのバリアにも泣かされました。

今後ますますの人が使いやすいよう、バリアフリーが推進されることを願うばかりです。(T・F)

福岡ひびき
信用金庫
イングス
クラブ

